

開発途上国の女の子支援 プロジェクト ご協賛のご案内

ChildFund
Japan

特定非営利活動法人
チャイルド・ファンド・ジャパン



はじめに

「子どもを学校に行かせたくない。行かせられない。そう話す大人をたくさん見てきました。」ネパールの15歳の女の子スニタは、自分の暮らす貧困地域の厳しい現実をそう語りました。

「貧しい家庭に生まれたから」「女の子だから」。そんな理由で、学校を諦めざるを得ない子どもたち。「この不条理を少しでも解決したい」。その思いを胸に私たちは約50年にわたり子ども支援を続けてきました。そしてこの度、今も厳しい環境にあるネパールの女の子たちへ一層の支援を届けるため、本プロジェクトを立ち上げました。

この課題の解決は私たちだけの力ではなしえませんが、企業の皆さまと一緒に取り組んでいきたいと考えています。どうか皆さまのお力をお貸しください。



チャイルド・ファンド・ジャパンについて

1975年より途上国の子ども支援を行う、国際協力NGOです



支援地域・人数

- フィリピン、ネパール、スリランカを中心に支援
- 支援する子どもの人数
約4,500人（2023年3月時点）



団体規模

- 事業規模 約4.5億円
- スタッフ数 16名
- 支援者数 約5,200名
（2023年度のべ人数）



支援・連携企業・団体

- DHL、ECC、GMOインターネット、INPEX、花王、粧美堂、デジタルデータソリューション、横浜ゴム、東横INNなどこれまでに1,000以上
- 外務省助成事業も実施

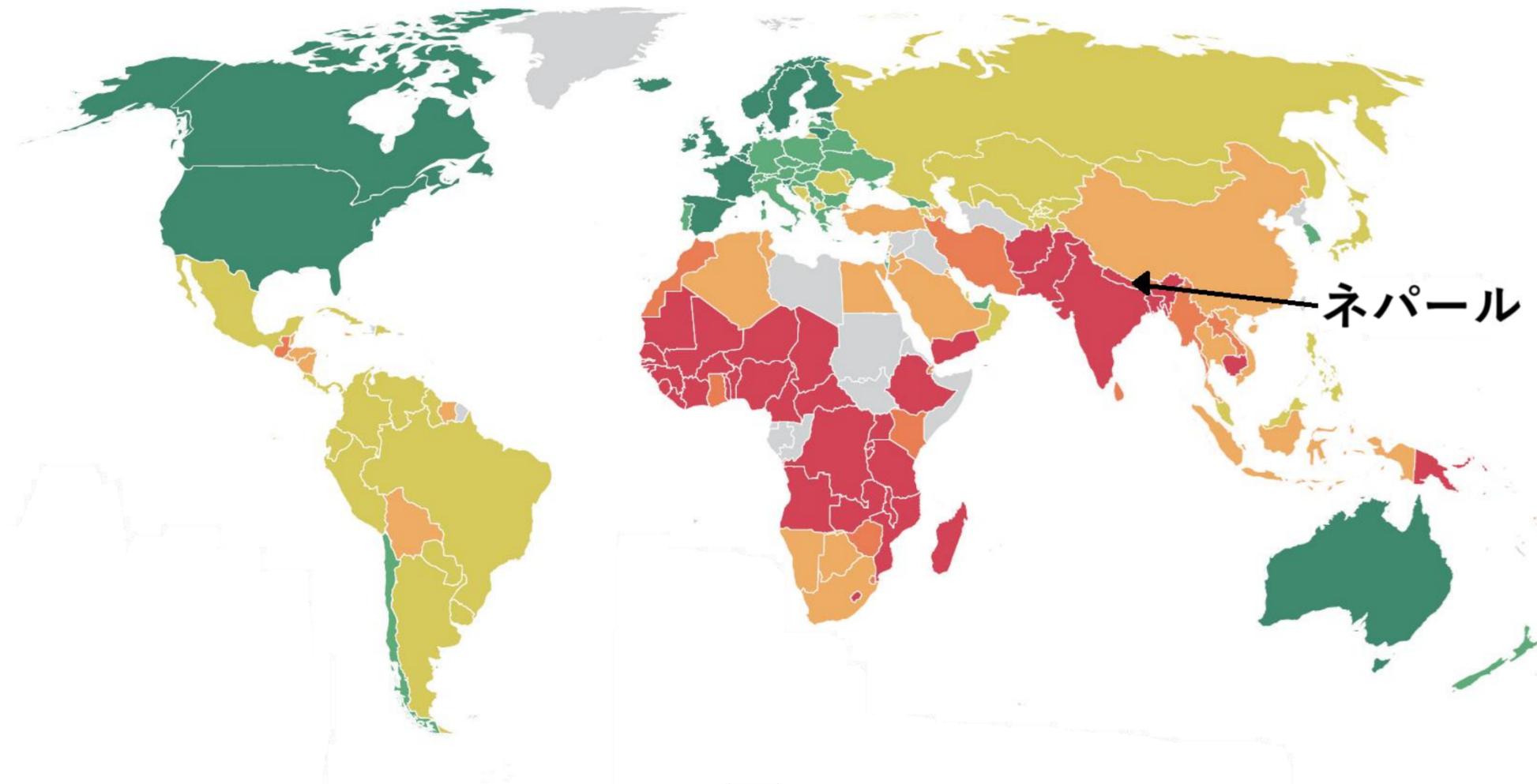
ネパールの女の子が直面する課題



チャイルド・ファンド・ジャパンが活動するネパールの山間地域ダーディン郡は、**貧困ライン以下で生活する人の多い**厳しい地域です。公立学校の学費は無償ですが、文房具、制服などが用意できず、**学校をドロップアウト（退学）する子どもたちが少なくありません。**

特にその中でも女の子は様々な困難に直面しています。「**家事は女の子がやるもの**」という認識が強く、料理、洗濯、きょうだいの世話などを日々こなす彼女たちは、**家事のために学校を休まざるを得ない**ことも少なくありません。家事を終える頃には日も暮れて、**照明のない家では宿題をすることすらできません。**

ネパールの女の子が直面する課題



児童婚の習慣も根強く、ネパールでは**3人に1人の女の子が18歳未満で結婚**しています。また、**生理期間中には家族と別の部屋での生活を強いら**れることや、トイレなどの衛生設備が整っていないために学校を休まざるを得ないこともあります。

さらに、チャイルド・ファンドが発表した「女性と子どもの権利に関するワールド・インデックス」では、女性の権利がどの程度守られているかのランキングにおいて、ネパールは**157カ国中139位**となっています。

女性の権利の状況を示した地図。緑から赤になるにつれて、権利が守られていないことを表す。

[出典]

World Index https://childfundalliance.org/directory_documents/world-index-2024/

キャンペーンについて

ネパールで厳しい環境に置かれている女の子へ向けて、学校へ通い続けるための学用品、夜間でも学習ができるソーラーライトを届けるとともに、生理や児童婚などに関する研修を行います。こうした支援を女の子約250人に届けるため、以下のキャンペーンを通じて多くの方々へご支援を呼びかけます。

クラウドファンディング

2025年1月～3月に、クラウドファンディングを実施し、一般の方々からの支援を募ります。

杉並区での物品寄付

2024年12月～2月に「杉並区民の手でネパールの子どもたちへ教育を」キャンペーンを実施し、区民の皆さまからハガキや古本などの物品を寄付いただきます。

企業協賛

企業の皆さまから、協賛という形でご支援を賜りたいと思っております。



協賛メニューのご案内

	ライト	スタンダード	プレミアム
	10,000円	50,000円	250,000円
HPに使用できる画像・ロゴのご提供	✓	✓	✓
ご報告書PDFの送付（HP掲載可）	✓	✓	✓
特設ページでのロゴ掲載、リンク設置		✓	✓
CFJのSNSでの企業さま紹介		✓	✓
感謝のメッセージ動画の送付（HP掲載可）		✓	✓
特設ページでの企業紹介コーナー設置			✓
個別のプレスリリースの発行			✓
貴社での報告会の開催（ご要望に応じて）			✓

10,000円×2口など、複数口のご寄付も歓迎です

ご協賛のメリット

ご協賛をいただくことで、チャイルド・ファンド・ジャパンの各種媒体やプレスリリース等を通して、貴社の露出を高めることができるとともに、貴社ウェブサイト等においてCSR・ESGの取り組みをアピールしていただくことができます。

貴社のイメージ向上によるビジネスの加速はもとより、就活生のSDGsに対する意識が高まる中、人材の確保にもつなげることができます。



本協賛によって貢献いただける
SDGsの分野



ChildFund
Japan

特定非営利活動法人
チャイルド・ファンド・ジャパン